学校番号	1101

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	機械製図Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	７実教　702 機械製図（実況出版）						
副教材等	基礎製図検定問題集　（公益財団法人　全国工業高等学校長協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力を育てる。さらに本格的に「機械製図」を学ぶ。
前期の終わりには、希望する生徒がいれば基礎製図検定を実施し合格を目指します。
以下のことを強く意識して授業に参加してください。
・提出物の提出期限は、厳守します。
・課題の未提出は厳密に評価されます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
機械製図の基本を学び，器具･機械の設計製図に至るまで段階を追って学習する。
【思考力、判断力、表現力等】
CAD による設計製図の概要を学習する。
【学びに向かう力、人間性等】
機械に関する基礎知識を，総合的にまとめる能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに，各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法，図示法、図面表記などを正しく読み取り，寸法や基礎的な図面作成ができる力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における各種ルールを的確に理解し把握（分析）し，考察を深めるとともに，機械製図に関する知識と図面制作技術を活用しながら表現する力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち，機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して，主体的に学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基礎	・機械製図と規格 ・図面の役目と種類 ・製図の規格 ・製図用具とその使い方 ・図面に用いる文字と線 ・基礎的な図形の書き方 ・投影図のえがき方 ・展開図 ・立体の展開図	a:製図に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに，図面などを正しく読み，作成できる力を身につけている。 b:図面などの作成において問題を的確に把握し，機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 c:図面などを作成することに興味・関心をもち，機械製図の意義や役割を理解して，主体的に学習に取り組もうとしている。	図面 定期考査 ワークシート	図面 定期考査	行動観察 振り返りシート(端末使用課題) 作図課題
後期	製作図	・製作図のあらまし ・製作図 ・図形の表し方 ・・寸法記入法 ・・尺度 ・CAD 製図	a:製図に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに，図面などを正しく読み，作成できる力を身につけている。 b:図面などの作成において問題を的確に把握し，機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 c:図面などを作成することに興味・関心をもち，機械製図の意義や役割を理解して，主体的に学習に取り組もうとしている。	図面 定期考査 ワークシート	図面 定期考査	行動観察 各種図面作成 総合図面作成

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度